

第1号議案 令和2年度 事業報告

(令和2年4月1日より令和3年3月31日迄)

1. 郷土芸能に関する発表会の開催

(1) オンライン地芝居サミット2020: 令和2年12月20日(日)

2015年以後中断している「全国地芝居サミット」を、オンライン開催した。全郷芸事務所と各地出演団体・出演者の会場をオンラインでつなぎ、事例報告とディスカッションを行った。一般に広報し、視聴者は90名。

<出演団体・出演者> 順不同・敬称略

- 城井智子(全郷芸常務理事、全国地芝居連絡協議会副議長)
- 山口清文(写真家、全郷芸理事、全国地芝居連絡協議会議長)
- 山本正実(小鹿野歌舞伎保存会副会長)
- 足立伊公子(地歌舞伎案内人)
- 鎌田義美・紋妃(農村歌舞伎祇園座保存会)

<協力・出演>

- 蒲池卓巳(地芝居ポータル)
- 北河直子(地芝居ポータル)
- 館野太朗(地芝居ポータル)

2. 指導者、保存団体の育成

○郷土芸能振興支援プロジェクト

「郷土芸能振興支援プロジェクト」として、被災や少子高齢化等で継承が困難な芸能団体への支援金の寄附を募った。

3. 情報の収集及び提供

(1) 情報収集及び提供

- メールマガジン「祭と民俗芸能」をNO. 198(令和2年11月24日)からNO. 200(令和3年3月2日)まで合計3号を発行した。購読者数は262名。(2008年1月より)
- 公式 Twitter にて、令和2年4月18日から令和3年3月27日まで、合計123の情報配信を行った。購読者は2021年3月現在、806名。(2011年2月より)
- 公式フェイスブックにて、令和2年4月16日から令和3年3月26日まで、合計23の記事を発行した。購読者は2021年3月現在、563名。(2016年4月より)

(2) 会報発行

第99号から第102号まで発行した。

- 第99号 令和 2年 4月30日 発行(20頁)
- 第100号 令和 2年 7月25日 発行(20頁)
- 第101号 令和 2年 10月25日 発行(20頁)
- 第102号 令和 3年 1月25日 発行(20頁)

(3) 映像の収集と活用

「郷土芸能ストリーム・ビデオライブ」

郷土芸能を中心とした映像の上映会やディスカッションを通じて、郷土芸能へ理解を深め、サポートする層の増進を図ることを目的として開催した。

○第48回「東日本大震災10年目オンライン “東北よるべ”芸能語り」

期日・場所:令和3年3月12日 19時～22時・全郷芸事務所と各地会場のオンライン

内容:東日本大震災で被災した芸能団体や支援団体をオンラインでつなぎ、事例報告とディスカッションを行った。一般に広報し、視聴者は100名。

<プレゼンター>順不同・敬称略

○久保田裕道(東京文化財研究所無形文化遺産部、全郷芸理事)

○木村克子(ゆいの会、岩手郷土芸能祭実行委員会)

○岩手、宮城、福島 of 芸能団体、支援者

4. 国際交流事業

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京の主催事業である「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13」の一つとして、「世界無形文化遺産フェスティバル2020」の企画制作を行った。以下の内容で準備を進めたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

本事業を継続事業として改めて、令和3年度に現地調査の報告会の開催を企画し、準備を進めた。内容は五大陸六か国の芸能紹介と東北三県と東京都の芸能披露、そして有識者による世界無形文化遺産の重要性とその魅力を発信するフォーラムを開催。

期日:2021年8月1日(日)

会場:ヒューリックホール東京(千代田区有楽町)

○五大陸六か国の芸能紹介

- | | |
|------------------|--------------|
| ①「ガヨの伝統舞踊 サマン」 | インドネシア共和国 |
| ②「セトレーロ セトの多声歌唱」 | エストニア共和国 |
| ③「エチオピアの民族芸能」 | エチオピア連邦民主共和国 |
| ④「トンガの歌と踊り ラカラカ」 | トンガ王国 |
| ⑤「東ブータンのヤクの踊り」 | ブータン王国 |
| ⑥「ガリフナ民族の歌と踊り」 | ホンジュラス共和国 |

○東北三県と東京都の芸能披露

- | | |
|--------------|---------|
| ⑦「仰山流笹崎鹿踊」 | 岩手県大船渡市 |
| ⑧「秋保の田植踊」 | 宮城県仙台市 |
| ⑨「じゃんがら念仏踊り」 | 福島県いわき市 |
| ⑩「東京の太鼓」 | 東京都 |

○世界無形文化遺産フォーラム

5. 顕彰

令和2年6月26日(金)の令和2年度総会において、入会10年継続と5年継続の団体会員9団体に感謝状を贈呈した。

6. 郷土芸能の振興発展

(1) 三陸国際芸術祭2020(サンフェス)

東日本大震災で被災した三陸地域(青森、岩手、宮城)の復興と郷土芸能の発信を目的に、三陸地域の郷土芸能と現代アート、アジアの民族芸能を招聘し、公演と交流を行う事業で2014年から毎年開催されている。2020年度の主催は、三陸国際芸術推進委員会、国際交流基金アジアセンターで、全郷芸は郷土芸能に関連した事業について共催した。2020年度も鑑賞・体験・交流の各プログラムを実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策によりほぼ全て中止した。

また、「三陸国際芸術推進委員会」(以下委員会)は、三陸地域の地方公共団体や民間団体が連携し、国際的な視野に基づいた郷土芸能・文化芸術活動の推進を図るために平成30年11月に設立され、推進委員に星野理事長、運営委員に小岩理事が就任した。委員会では、Ⅰ三陸国際芸術祭、Ⅱ三陸芸能短期留学事業(アーティスト・イン・レジデンス)、Ⅲ三陸芸能マッピング事業の3事業を実施し、2020年度は全郷芸が「三陸芸能マッピング事業」のリサーチディレクター業務を受託した。

(2)「郷土芸能探訪」連載記事掲載

大学教育をメインとした冊子「文部科学教育通信」(月2回発行)に全国各地に伝わる郷土芸能を毎回1つ取り上げる「郷土芸能探訪」を昨年度から引き続き、第31回(令和2年4月13日)から第52回(令和3年3月22日)に掲載した。星野紘氏(当協会理事長)監修のもと執筆者を選任した。

(3)「カナガワ リ・古典プロジェクト」

神奈川県ゆかりの伝統芸能の魅力を、新発想で再(Re・リ)発信する「カナガワ リ・古典プロジェクト」は8回目を迎え、今年度は神奈川県鎌倉市で開催。当初舞台上で鎌倉市を中心として神奈川県内の民俗芸能公演を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、事前収録を行いオンラインで無料配信に切り替えた。全郷芸はアドバイザーとして芸能監修などを行った。主催はかながわの伝統文化の継承と創造プロジェクト実行委員会。インターネット上での「カナガワ リ・古典プロジェクト公式チャンネル」で動画配信されている。

令和2年度事業報告の付属明細書

1. 役員等に関する事項(令和3年3月31日現在)

<p><理事> 定数 14人～20人 任期 2年 現在数 常勤 2人 非常勤 13人</p>	<p><監事> 定数 3人以内 任期 4年 現在数 常勤 0人 非常勤 2人</p>
--	--

役職名	氏名	常／非常勤	任期	現職名(元職名)	当初就任日
理事長	星野 紘	非常勤	令和 1.6.15～3.6.14	東京文化財研究所 名誉研究員	平成 23.6.18
専務理事	佐久間 昭	非常勤	令和 1.6.15～3.6.14	(公社)全日本郷土芸能協会 専務理事	平成 7.5.24
常務理事	城井 智子	非常勤	令和 1.6.15～3.6.14	(公社)全日本郷土芸能協会 常務理事	平成 7.5.24
常務理事	中坪 功雄	非常勤	令和 1.6.15～3.6.14	(一社)日本イベントプロデュ ース協会参事	平成 7.5.24
常務理事	森下 春夫	常勤	令和 1.6.15～3.6.14	(公社)全日本郷土芸能協会 事務局次長	平成 9.6.7
理事	秋田 吉博	非常勤	令和 1.6.15～3.6.14	京都中堂寺六齋会会長	令和 1.6.15
理事	小岩 秀太郎	常勤	令和 1.6.15～3.6.14	(公社)全日本郷土芸能協 会事務局次長	平成 29.6.10
理事	佐々木 昌幸	非常勤	令和 1.6.15～3.6.14	有福神楽保持者会	令和 1.6.15
理事	菅原 晃	非常勤	令和 1.6.15～3.6.14	鬼柳鬼剣舞庭元	平成 25.6.8
理事	瀬沼 亨	非常勤	令和 1.6.15～3.6.14	八王子車人形家元	平成 11.6.12
理事	高橋 裕一	非常勤	令和 1.6.15～3.6.14	獅子博物館館長	平成 23.6.18
理事	新沼 裕道	非常勤	令和 1.6.15～3.6.14	東京文化財研究所 無形民俗文化財研究室長	平成 25.6.8
理事	円尾 安子	非常勤	令和 1.6.15～3.6.14	さぬきばやし保存会家元	平成 25.6.8
理事	宮本 芳彦	非常勤	令和 1.6.15～3.6.14	(株)宮本卯之助商店社長	平成 25.6.8
理事	山口 清文	非常勤	令和 1.6.15～3.6.14	全国地芝居連絡協議会 議長	平成 21.6.20
監事	星野 敬太郎	非常勤	令和 1.6.15～5.6.14	上三原田歌舞伎舞台 伝承委員会	平成 21.6.20
監事	山本 正実	非常勤	令和 1.6.15～5.6.14	小鹿野歌舞伎保存会 副会長	令和 1.6.15

2. 職員に関する事項(令和3年3月31日現在)

役職名	氏名	常／非常勤	就任年月日	担当事務	備考
職員	西田 昌代	常勤	平成 16.4.1	一般事務	

3. 会議に関する事項

(1) 社員総会に関する事項

定款第4章第15条に基づく社員総会の報告

令和元年度定時社員総会

期日:令和2年 6月 26日(金)

会場:公益社団法人全日本郷土芸能協会事務所

出席数:198名(委任状含む)／総数308名

議案	第1号議案	令和元年度事業報告の承認の件	可決
	第2号議案	令和元年度収支決算の承認の件	可決
	報告事項1	令和2年度事業計画の件	報告
	報告事項2	令和2年度収支予算の件	報告

(2) 理事会に関する事項

定款第6章36条に基づく理事会の報告

① 令和元年度第1回通常理事会

書面評決:令和2年5月11日、理事長 星野紘が理事及び監事の全員に対して上記理事会の決議の目的である事項について提案書を発し、当該提案につき、令和2年5月27日までに、理事の全員から書面により同意の意思表示を、また監事から書面により異議がない旨の意思表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条(一般財団法人にあつては、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する第96条)及び定款第41条の規定に基づき、当該提案を可決する旨の理事会の決議があつたものとみなされた。

決議があつたとみなされた日:令和2年 5月 27日(土)

議案	第1号議案	令和元年度事業報告の承認の件	可決
	第2号議案	令和元年度収支決算の承認の件	可決
	第3号議案	令和2年度定時社員総会の招集について	可決
	第4号議案	新入会員承認の件	可決
	第5号議案	令和元年度表彰の件	可決
	報告事項1	業務執行理事の業務執行報告	報告
	報告事項2	令和元年度退会会員	報告

② 令和2年度第2回通常理事会

期日:令和3年 3月 13日(土)

会場:(公社)全日本郷土芸能協会事務所

出席数:12名／総数15名

議案	第1号議案	令和3年度事業計画の承認の件	可決
	第2号議案	令和3年度収支予算の承認の件	可決
	第3号議案	資金調達及び設備投資の見込みについて	可決
	報告事項	業務執行理事の職務執行報告	報告

4. 社員の異動状況

社員種別	令和2年3月31日現在	令和3年3月31日現在	増減数	摘要
団体会員	219	215	-4	
個人会員	92	93	+1	
賛助会員	9	10	+1	
ユース会員	2	0	-2	

5. 令和2年度後援名義使用承認事業

2全後第1号(令和2年 7月20日承認)

名称 民俗芸能による祈りと絆の舞 ～まず演(や)るべ！コロナに負けねぞ！～
 期日 令和2年 9月12日(土)、13日(日)
 主催 北上市民俗芸能協会

2全後第2号(令和2年 9月 7日承認)

名称 第32回「民俗芸能と農村生活を考える会」
 期日 令和3年 2月 20日(土) 延期
 主催 一般社団法人全国農協観光協会

2全後第3号(令和2年 10月 8日承認)

名称 第2回 民俗芸能Now！in神田明神 ～疫病退散と世界平和を願って～
 期日 令和2年 11月 28日(土)
 主催 一般社団法人全国農協観光協会

2全後第4号(令和2年 10月26日承認)

名称 鬼よ燃えろ！冬のみちのく芸能まつり part12
 期日 令和3年(2021年) 1月24日(日) 延期
 主催 北上市文化財活性化実行委員会

2年全後第5号(令和2年 11月 6日承認)

名称 田楽座熊谷公演「日本まつり芸能絵巻―祭りの音色に願いを込めて―」
 期日 2021年 2月11日(木祝) 延期
 主催 熊谷で田楽座を観る会・田楽座
 特典付き田楽座応援チケット8000円

2年全後第6号(令和2年 11月 6日承認)

名称 田楽座ながめ余興場公演
 期日 2021年 2月 13日(土) 14日(日) 延期
 主催 田楽座ながめ公演実行委員会・田楽座